



《メールアドレス》
akito@kdr.biglobe.ne.jp

市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

みどりと清流

2008年 1月発行 第72号

日本共産党中野あきと事務所

日野市南平7-6-72 Tel.599-3350

〒191-0041 発行責任者 小山敏正

しんぶん 赤旗

日刊紙1ヶ月 2900円

日曜版1ヶ月 800円

お申し込み・南多摩事務所

Tel.042-374-4384

又は中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



2008年

新春



中野あきと事務所

九条の会集会につめかけた参加者・12/16

日野市民九条の会集会・多数の市民が参加

◇◇◇記念講演・澤地久枝さん（作家）
メッセージ・川澄祐勝師（高幡不動尊金剛寺貫主）◇◇◇

12月16日、「日野市民九条の会」の結成一周年記念集会が行なわれ、会場の市民会館大ホールには多数の市民がつめかけました。集会では、この一年間の活動経過が報告され新しい代表役員を選出、市民に向けたアピールが採択されました。

「九条を持つ独立した国につくりなおしたい…小さな人間のこと」と題して講演をおこなった澤地久枝さん（九条の会呼びかけ人）は、最後に「日野は革新の伝統が息づいているところ、一緒に頑張りましょう」と訴えました。

また、高幡不動尊金剛寺貫主、川澄祐勝師から「憲法第九条のここをしっかりと守っていきたいと念じております」とのメッセージが寄せられ紹介されました。



①障害児の入会は四年生まで認められていましたが、通級学級に通う児童は普通学級と同様に三年生までになったこと。
②入会できないことがある場合として、「学童クラブ費に未納がある場合」

学童クラブの入会要件の変更で中野議員
児童福祉法の精神に立って正を
日野市は、来年度の学童クラブの「入会申請の案内」を大幅に書き換えました。障害児などその影響は大きく、保護者から「なぜ、入会の要件が厳しくなったのか」という声が上がっています。12月市議会でも中野あきと議員は、本会議質問でこの問題をとりあげ市の姿勢をたどりました。

学童クラブは、保護者が就労などにより放課後の時間に家庭にいない児童をあらかじめ、安全に育成する施設です。来年度の「入会申請のご案内」では、厚労省が策定した「学童クラブのガイドライン」によると「障害のある児童など特別に配慮を要する児童については、利用の希望がある場合は可能な限り受け入れにとめること」とあります。そうした立場に立てば通級学級の児童を四年生の育成から除外したり、「集団による指導が困難」を理由に入会を断るなどの文言は不適切です。また、「学童クラブ費の滞納」という親の責任を理由にした入会拒否も、児童の福祉を保障する児童福祉法の精神に反することです。

中野議員の質問に市は、「通級学級でも支えの必要な子どもは受け入れる方向で調整したい」と是正の姿勢を示し、「クラブ費滞納に触れたのは、保護者への注意を促す意味（実際には拒否はない）」と答えました。

短信

「日本人の好きな言葉」がNHK放送文化研究所から発表された。「ありがたう」「思いやり」「健康」がベストスリーで「努力」「根性」に変わり「優しさ」「平和」「幸福」が大きく順位を上げた。そんな言葉を求めざるを得ない世相といえどもそれまでだが、日本人の健全さを率直に喜びたい▼「偽」で締めくくられた

07年だが、民意の重さで国の政治には変化が。数をたのんだ与党の横暴は影を潜めた。インド洋上の自衛隊は撤収し、薬害肝炎訴訟も重い扉をこじ開け解決への道を大きく開いた▼地域的名称の枠を超え参加国が広がる東南アジア友好協力条約。「独立・主権の相互尊重」「内政不干渉」「紛争の平和的解決」「武力の威嚇・行使の禁止」など、憲法九条と合致する流れが地球人口の57%に及ぶ▼穏やかに明けた新年。大型テレビ番組に飽き高幡橋から一番橋へ、真っ白な富士にむかって遊歩道を行く。世紀が変わって八年目。「優しさ・平和・幸福」を求め、主権者である国民が新しい政治をつくる転機の年となるのか。川べりの風は冷たいが降る陽射しは暖かい。(K)

審議委員会の運営

大幅に改善

審議委員の選挙から一年、豊田南区・区画整理審議会は、この間、二回の審議会が開かれましたが、従来から改善要望が出ていた運営に、幾つかの進展がみられています。

審議会を傍聴した人からは「ずいぶん改善された」などの声が聞かれています。

◇ 従来、審議会では、同じ席で施工者（部長・課長）と委員が審議していたが、施工者側の席を区別することにより、審議委員の独自性がより明確になった。

◇ 審議当日配布されていた議事内容や資料を、事前配布とした。路線価図も配布されるように改められた。会議に先立ち、換地先や変更先を見学し、事態を事前に把握できるようになった。

◇ 議事録についての改善（回答待ち）

① 議事録テープは五年間保管する。

（要約録作成後消去していた）

② 議事録は逐語録（テープ内容そのまま）とする。

③ 議事録は、全審議委員に配布する。

◇ 傍聴者について

従来は、希望者が会議前日までに申し込み、十人で打ち切っていた。（当日傍聴席に空きがあっても許可されなかった。）今後は原則前日申し込みだが、空きがあれば許可されることになった。

平山住宅自治会が対市交渉

平山住宅自治会は昨年 11 月 27 日、対市交渉を行い、提出した要望書の回答を得ました。要望と日野市の回答（要約）は以下のようになりました。この交渉には中野あきと議員も同席しました。

1. 消防署豊田出張所に救急車の配備を。
回答：必要性があるので検討する。
2. 平山循環線の平山住宅内停留所の新設や、市内循環バスの増便。
回答：要望が多い。2 年毎の検討会で議論したい。
3. 滝合橋の歩道拡幅、架け替えを進めてほしい。
回答：歩道拡幅については、ガードレールを車道へ下げることを検討する。
4. 保育園前の市道の交通の抑制、安全の確保。
回答：現状は認識している。実現に努力する。
5. 汚水処理場の跡地利用に「地域交流センター」を。
回答：公共施設が少ないことは承知している。検討したい。
6. AED（自動体外式除細動器）の設置を。
回答：市内 140 カ所に設置した。必要箇所を設置していく。
7. 滝合小学校の教室、体育館に空調を。
回答：防音区域内の学校は二重ガラスの防音対策を強化し、クーラー設置を防衛省に申請したい。以上

保育園など民営化計画の凍結、保護者参加で再検討を

保育園や学童クラブ、児童館などの民営化計画の理由に「少子化」問題がありま。しかしいま、多摩平団地では、都市再生機構（略称 U R）による建直しと大規模な再開発事業おこなわれ、二、三〇〇戸が増加し、八、〇〇〇人を超える規模の人口増が予想されています。

中野あきと議員は 12 月議会で発言。少子化どころではない、学校、保育園、幼稚園などの基盤整備こそ必要と指摘。市の「まちづくり指導要綱」が法的拘束力を持たない中で、人口増による負担

を行政が被ったり「詰め込み」などで子どもにしわ寄せが及ぶことが予測される。U R に公共セクターとしての役割をはたさせるためにも市民の足場が必要と強調し、請願の採択を主張しました。

一方、「この請願が求めている公営に固執して民営化を締め出しているのは定員を増やすのはむずかしい。賛同できない。」子ども人口推計の推移を見極めるべき。結論を出すのは時期尚早。」などの意見が出された結果、請願は採択に至らず継続審議となりました。

三万五千の請願、また継続審議に

《08年2月の無料法律相談》

村松みえ子事務所 午後6時～8時

2月 8日（木）

市役所6階・共産党控室 午後1時～3時

2月14日（木）

※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

村松事務所 TEL582-0504

中野事務所 TEL599-3350

多摩格差の解消と緑の保全
知事に直接要望しました。

都議会議員 村松みえ子

みえ子の
飛びある記



多摩格差の解消は私がつねに抱えている大きな課題ですが、昨年 12 月 19 日、共産党都議団が石原知事に来年度の予算要求を出した場で、私は二つのことを知事に強く要望しました。

一つは多摩都市モノレールにシルバーパスを適用させる問題です。3 月には、都営日暮里舎人（につぼりとねり）線が開通しますが、開通と同時にシルバーパスが使えることになります。23 区では既存の都営地下鉄とあわせ、更に利用範囲が広がりました。

多摩モノレールは、東京都が同じ手法で設置したのに、運営主体が違うというだけで適用しないのでは、沿線の方々などが納得できないのも当然です。

もう一つは、緑を保全する問題です。東京都が 87 ヘクタールもの森林を開発しようとしている稲城市の南山の問題がさし迫っています。貴重な植物やオオタカが生息している場所です。開発前に雑木林をよく見るよう、知事に伝えました。

知事は都議団の要望に一言「はい、分かりました」と答えました。昨年の参議院選挙の結果、国の政治も様変わりし始め、自公政治のゆきづまりも深刻です。「構造改革路線」に「ノー」を示した民意のもつ意味を、都政も真剣に受け止めなくてはならないはずです。

今年も一緒にがんばりましょう。